

SHIRAKOBATO

# しらこぼと



1996. 6

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 146

日本野鳥の会 埼玉県支部

# 森に親しもう—埼玉の森 入門—

バード・ウォッチャーの皆さんは、野鳥観察で森に出かける機会が多くあると思います。ここでは埼玉の森の基本的な見方と樹の名前の調べ方を説明しましょう。

## 1. 天然林と二次林、植林を見分けよう！

埼玉で森と言えば郊外にある雑木林と呼ばれるマツタケを採るアカマツ林やカブトムシを取りに行くクヌギ・コナラ林、八高線より西側でよく見掛けるスギ林をまず思い浮かべます。スギ林は製材用に植林している事は分かります。雑木林は植林、人の手が加わった後の二次林、人の手の加わらない天然林のいずれでしょうか？

いわゆる武蔵野の雑木林は、天然の林を伐採してその後自然に生えてくるクヌギやコナラなどの樹々を定期的に燃料用として切り出している二次林です。

この様に森に行くと天然林、二次林、植林を見分ける事はそれ程やさしくはありませんが、だいたい次の点がポイントとなります。まず植林では、

- (1) 同じ種類の樹が同一間隔で生えている。
- (2) 同じ種類の樹の大きさ、幹の太さがほぼ一定である。

が見分けのポイントであり、人手での加わった二次林では、

- (3) 森に2、3種類の高い樹しか生えていない。

がポイントとなります。現実には、近頃の雑木林の様に手入れがされていない林では、時

間を経つとともに様々な樹々が入り込んで天然林に近づいて行く様に見えるのも事実です。

## 2. 現地の森林帯を知ろう！

森はその温度と雨量の季節変化によって生育する樹の種類が決まります。日本の気候は北から亜寒帯、温帯と亜熱帯と区分されます。埼玉ではそのうち亜寒帯と温帯があり、後者をさらに細かく冷温帯、中間温帯、暖温帯と分け、この四区分がそれぞれの森林帯となります。

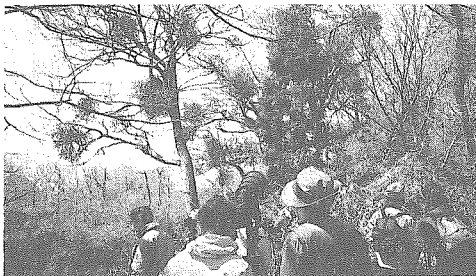
樹の名前を図鑑で調べるに当たって、現地の森がどの森林帯にあるかがポイントになります。埼玉の主な森林帯とそこに生えている代表的な高木の名前を表に示します。

## 3. 樹の名前を調べよう！

樹は皆さんご存知の様に、年間を通した葉の付き方から落葉樹と常緑樹、葉の形から針葉樹と広葉樹があり、これらの組み合わせから四通りの生活タイプがあります。樹の名前を知るには、まず大きくこれらの四通りの生活タイプのうちどれかを調べることに始まります。武蔵野の雑木林の構成樹のひとつであるアカマツは常緑針葉樹、クヌギ、コナラは落葉広葉樹となるわけです。

目の前にある樹の名前を調べるにはどうしたらよいでしょうか。草であれば花が咲いているとき、花の形や色で調べます。しかし、樹の花も一年のうち、ごくわずかの期間しか咲いておらず花で見分けるのはほとんど不可能です。そこで樹は花以外のもの、つまり一年間見えるもの、樹の幹の模様を元に、冬であれば冬芽、春から秋であれば葉っぱの形で調べる事になります。

冬芽から引くフィールド図鑑としては、平野弘二 1989 検索入門 冬の樹木 保育社 大阪  
がありますが、著者が大阪の人のため冷温帯



(県立秋ヶ瀬公園園子の森にて)

表 埼玉の森林帯と主な樹

森林帯	地域	標高	天然林		二次林		植林	
			針葉	広葉	針葉	広葉	針葉	広葉
亜寒帯林	奥秩父山地の峠部と山頂部	1600m以上	コメツガ ウラジロモミ シラビソ	—	カラマツ	ダケカンバ	—	—
冷温帯林	奥秩父山地の大部分	640m以上	ツガ ヒノキ	ブナ	—	ミズナラ	—	—
中間温帯林	秩父盆地と周辺の山々	250m以上	モミ	アラカシ	アカマツ	コナラ	スギ ヒノキ	—
暖温帯林	J R八高線以東	250m以下	モミ	スダジイ ウラジロガシ シラカシ ケヤキ	アカマツ	コナラ	スギ ヒノキ 竹類	クヌギ

の落葉樹が少ない欠点があります。

葉の形から引くフィールド図鑑としては広葉樹に限りますが、

尼川大録、長田武正 1988 検索入門 樹木 1、2 保育社 大阪

があります。対象は本州、四国、九州のみです。

針葉樹は北海道から沖縄について、  
中川重年 1994 検索入門 針葉樹 保育社 大阪

があります。

冷温帯から亜寒帯の樹木については、北海道用ですが、冬芽、葉の形、幹の模様について、広葉樹、針葉樹の全てが一冊で索引できるフィールド図鑑、

佐藤孝夫 1990 北海道樹木図鑑 亜璃西社 札幌

があります。私も冷温帯や亜寒帯へ行く時はいつも持参しています。樹木用のフィールド図鑑はこの北海道樹木図鑑の様に、冬芽、葉の形、幹の模様での検索でも、花や実が描かれているのが理想で、ヨーロッパの樹のフィールド図鑑はほとんどこのタイプです。自然観察の歴史の深さを感じさせます。

埼玉の森、暖温帯林から亜寒帯林までの樹々を、冬芽、葉の形、幹の模様で検索でき、花や実、そして紅葉の姿や樹形が描かれるフィールド用樹木図鑑が早く出版されるのを願います。

### おわりに

ここでは埼玉の森の概要を述べ、現地における天然林、二次林、植林の見分け方と、樹の名前の調べ方の入口、そしてフィールド用樹木図鑑まで案内しました。

森林帯の違い、また天然林、二次林、植林によりそこに住む鳥の種類も大きく違ってきます。埼玉の地形区分、低地、台地、丘陵帯（以上暖温帯林に相当）、低山帯（中間温帯林に相当）、山地帯（冷温帯林に相当）、亜高山帯（亜寒帯林に相当）に対する環境別の生息する鳥について、当支部編の本の中に、小荷田行男 1994 埼玉の鳥相 きままにバードウォッチング 一埼玉 基本の鳥66種と探鳥地15選— 104~ 105 幹書房 浦和にまとめておきましたのご参照下さい。

本文が森と鳥の関係を観察するのに参考になれば幸いです。

(小荷田行男)



(「ほら、あれがヒレンジャクだよ」)

## 地鳴きコーナー

### ツミの戦い

上野越郎 小5 (川崎市)

お母さんが、「ねえ、ねえ、近くの林に何かいるよ」とぼくに言いました。でもその鳥はいませんでした。

それから三日後、お父さんが林へ鳥を見に行き帰ってきて、「ツミがいたぞ。」と教えてくれました。さっそく、ぼくとお父さんとお母さんと弟で林へ行きました。よくさがしてみましたが、キジバトぐらいでした。そして、あきらめかけたころ、お父さんが「あっ、来たぞ、来たぞ。」と言いました。ぼくは「ラッキー」と思いました。

最初は一羽、その後もう一羽来ました。2羽とも「キュキュケケケ」と高い声で鳴いていました。そして、ぼくは「交尾だ」と思わず言ってしまいました。でも、よく見ると、一羽(♀)がもう一羽(♀)のももを両足でつかんでつばさを枝にかけバランスをとりながら、一分間ぐらいぶらさげていました。どうやら、ももをつかまれていた一羽が争いに負けたようです。争いに勝った一羽がまわりの枝に止まって「キュキュケケケ」と鳴きながらなわばりせん言していました。

ぼくは、こんなシーンを見たことがなかったので小さいけどこわいなあと思いました。

### アカゲラ、発見!!

井上咲子 (久喜市)

久喜市吉羽公園でアカゲラのつがいを発見。公園内の木に穴を掘っている真っ最中(3月29日)。カンカンカン…と辺りによく響くのにも誰も気付かない様子。

この辺りでは、もしかしてめずらしくないかもしれませんが、私はとてもビックリし、感動しました。無事にヒナが生まれ、巣立ってくれればと思います。

家の近くの湿地には、毎年セッカやオオヨシキリが来ますが、今年から何年もかけて、下水処理施設の工事が行われます。鳥たちがどうなるのか心配ですが、とりあえず見守る

しかないかと思っています。

### インコの餌を食べているのは

高橋達也 (戸田市)

我が家の西側の窓の向こうには、コンクリート張りの大きな駐車場があります。半年程前から、その駐車場の隅にインコの餌をまいています。本当は、小さいながらも我が家の庭にまきたいのですが、ノラネコのなわばりになっているので、見晴らしの良い駐車場にまいています(勝手にまいてすみません)。

今では、ほぼ毎日、キジバト、スズメ、カワラヒワなどが立ち寄ってはついばんでいます。しかし、先日なにげなくそのついばんでいる鳥達を見ていたところ、その中にハクセキレイが1羽混ざっていました。最初は、まさかとおもっていたのですが、しっかりとインコのえさをついばんでいました。

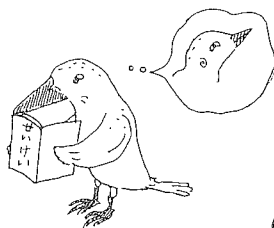
その後、何回か見かけましたが、ひどい時には他の鳥達を追い払って一人(一羽?)で食べています。普段、水辺で何を食べているかわからないハクセキレイですが、インコの餌まで食べるとはちょっとした発見でした。

### コマドリが来た!!

鈴木和博 (吹上町)

夏鳥との出会いが楽しいな今日この頃です。

我が家に大変なお客様、コマドリがまいており(4月23日から)、朝の5時40分頃から鳴いています。シタケのほだ木の中を往復しています。イカルを待っていました私共に、春の大変なプレゼントです。



(押川歳子)

子を産む? イーグル・ストーン



私がワシ・タカ大好きということをよく知っている親しい友人が、とても面白い『ワシの石』-Eagle Stone の話をもってきてくれました。独占するのはもったいないようないい話ですので、この欄で皆さんにご披露いたします。

石は世界中どこにでもあり、そのひとつひとつが、世界中捜してもただひとつのものであるという面白さがあり、温もりがあり、なにかそっと懐にいれておきたいと思うことはありませんか?

古代から伝説として、自分で増えていくことのできる石、アエタイトという石がありました。イーグル・ストーンと呼ばれ、石が割れると内部からより小さい石が現れる現象で、この石を持っていると子孫の繁栄を高めるといわれています。夫のワシが、妻のワシに

産卵を促すために、巣の中に必ず1個以上置いているのだと、人々が信じていたという伝説です。

今日の科学では、粘土を核とした鉄分の多い殻を構成している粘土鉄質凝結物であり、面白いことに日本でも琵琶湖の地層や沖縄で発見されています。その名もまさに日本的に『鳴る石 (なるいし)』と言います。

Eagle Stone (Limonite) または Rattle Stone (ガラガラ鳴る石) と呼ばれている褐鉄鉱のことであり、外側は砂の混ざった褐鉄鉱の皮で、内部に白色の粘土が入っており、この粘土が乾燥すると内部に空間ができて、振るとコトコト音がするということです。

探鳥会で河原に出たら、時には目をトリから離して、褐色のイーグル・ストーンを見つけてみましょう! コトコト音がするのがポイントです。

鳥の名前から環境を調べよう (夏鳥)

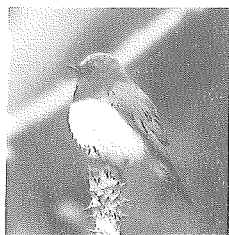
日本野鳥の会埼玉県支部研究部

今月号に同封した調査はがき (右) に、本年5月10日から7月10日まで各自の自宅から半径50m以内で確認した鳥を、記入してご郵送ください。

はがきは夏冬兼用で印刷してありますが、今回は夏鳥だけの調査です。

上記期間内に確認できた鳥種を、確認方法と一緒に書いてください。確認方法は、地上近くで姿が見られたか、声だけだったか、上空通過かという違いです。

人の住む環境の違いでどのような鳥が見られるかを調査するものですから、高層住宅、1~2階建て住宅、商業地区、工場地区などの環境もご記入願います。



オオルリ (菱沼一充)

ご自宅のできる調査です。前回と同様、積極的なご参加をお願いします。

(小荷田行男)

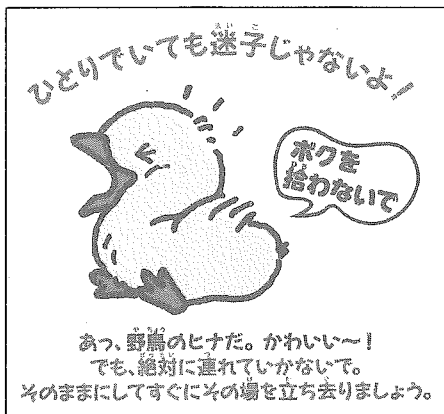
調査期間: 夏鳥 5/10-7/10、冬鳥 12/1-1/31  
自宅に (餌台:有 無、水場:有 無、巣箱:有 無)  
メッシュコード:

種名	確認方法 (○印)	整理
	姿 声 上空通過	
	姿 声 上空通過	
	姿 声 上空通過	
	姿 声 上空通過	
	姿 声 上空通過	
	姿 声 上空通過	
	姿 声 上空通過	
	姿 声 上空通過	
	姿 声 上空通過	
	姿 声 上空通過	
	姿 声 上空通過	
	姿 声 上空通過	
	姿 声 上空通過	
	姿 声 上空通過	
	姿 声 上空通過	
	姿 声 上空通過	

コメント:

- ヨシガモ ◇3月8日、川越市の伊佐沼北側中洲近くの干潟に群れる約20羽のマガモの群れ中にも1羽。ちゃっかり♀2羽を引き連れていることを確認。4月5日、同所で上記の3羽、他の冬鳥が帰った春の伊佐沼の中心でまだユラリユラリ。よほど居心地がいいんでしょうか(中司隆由)。
- アメリカヒドリ ◇3月22日、志木市の柳瀬川高橋すぐ下流でヒドリガモの群れに混じって♂1羽(中司隆由)。
- クイナ ◇2月12日、飯能市の浄化センターの近くの入間川で1羽(藤森三治)。
- ツミ ◇3月28日、寄居町の玉淀ダム手前の雑木林で1羽。シジュウカラらしき小鳥を伸ばした足でつかみ、キュンキュン鳴くのをすごいスピードで林の間を飛び抜け屋敷の茂みの中に消える(陶山和良)。◇4月3日、浦和市白幡2丁目の屋敷林で♂1羽(海老原美夫)。◇4月12日、鴻巣市の車小學校付近で鋭い一声を聞く。4月19日、同所付近のケヤキの木から羽ばたき舞い上がるのを確認(内藤義雄)。
- コチドリ ◇4月20日、幸手市木立の中川で1羽(秋間利夫)。
- ムナグロ ◇4月10日、浦和市秋ヶ瀬の大久保農耕地で約50羽。11日には、約100羽(佐藤進)。◇4月11日、幸手市木立の田

- んぼで32羽(秋間利夫)。◇4月14日、坂戸市入西の調節池の土手で2羽。夏羽でした(黒木昭雄、増尾隆・節子)。◇4月20日、幸手市木立の中川で20羽(秋間利夫)。
- タゲリ ◇3月14日、吹上町大芦、砂原の田んぼで1羽(栗原省二)。
- ハマシギ ◇3月22日、志木市の柳瀬川高橋～栄橋間の浅瀬でハシビロガモ、コガモの群れと隣りあって18羽の群れ。午睡中のところをツグミに脅かされて飛び立ち、移動。移動先では今度はハシトガラスに脅かされてかわいそう(中司隆由)。
- ツルシギ ◇3月31日、戸田市道満の彩湖西岸で冬羽1羽。周辺ではコチドリがピーヨピーヨピッピッピッピッと飛び回り、ツバメは水面にツイッと触れて水浴びをしていた(海老原美夫)。
- タシギ ◇4月20日、幸手市木立の中川で1羽(秋間利夫)。
- コアジサシ ◇4月20日、幸手市木立の中川で2羽(秋間利夫)。
- シラコバト ◇3月31日、戸田市道満の彩湖西岸の林で1羽。ここ数年、この周辺では確認していない。久しぶり(海老原美夫)。
- トラフズク ◇3月31日、浦和市秋ヶ瀬公園水生植物園で2羽が越冬していたが、この日は見られなかった。他の人もこの日は見えていない。時々カメラマンが入り込んで飛ばしてしまうので、渡去したものかどうかまだはっきりしないが(海老原美夫)。
- アカゲラ ◇3月20日、秩父市の羊山公園で探鳥会終了後、菖蒲田奥にて黒色が少なく白地で頭とお尻の赤だけが一際目立つハデハデが1羽(新部泰治)。
- アオゲラ ◇3月13日、飯能市下畑の成木川付近の雑木林で1羽(藤森三治)。◇4月6日、熊谷市大麻生の野鳥の森で1羽(新部泰治)。
- ヒレンジャク ◇4月18日、浦和市秋ヶ瀬の子供の森で1羽(陶山和良)。
- ツバメ(初認) ◇3月18日、川里村で4羽(樋口)。◇3月19日、北川辺町の渡良瀬遊水地で5羽(樋口)。◇3月25日、浦和市の荒川秋ヶ瀬取水堰付近を数羽飛びかっ



(財)日本野鳥の会と(財)日本鳥類保護連盟共催で「ヒナを拾わないで」キャンペーン実施中

ていた(海老原美夫)。◇3月26日、戸田市道満の彩湖で1羽(高橋達也)。◇3月31日午前7時、岩槻市加倉5丁目の自宅付近で1羽。どこからともなくツチッ、ツチッと懐かしい声。声のする方を見ると水路に沿って元気に飛んでいた(藤原寛治)。  
 ◇4月3日、西武秩父駅付近で1羽(山岸昭治)。◇4月4日、滑川町の森林公園南口付近で1羽(松尾英美)。◇4月5日、川越市の伊佐沼で1羽(中司隆由)。◇4月7日、幸手市中1丁目で1羽(秋間利夫)。

イワツバメ(初認) ◇3月19日、北川辺町の渡良瀬遊水地で5羽(樋口)。◇3月19日、JR吹上駅で、お彼岸の使者ともいうべき群れが今年もやって来ました。賑やかに囁りながら飛びかう(栗原省二)。◇3月20日、西武秩父駅上空を飛翔(羊山公園探鳥会参加者)。

コルリ ◇4月13日、菖蒲町の神明神社で♂1羽。下生えのある低木の枝をわたっていた。腹部の白さが印象的でした(内藤義雄)。

イソヒヨドリ ◇4月4日、秩父市の羊山サンクチュアリ付近で1羽(山岸昭治)。

トラツグミ ◇4月13日、菖蒲町の神明神社で1羽。毎年見ていたのに、今年は見られないかなと思っていたら、突然藪の中から陽の当たる所に出てきた。思っていたより薄い色でした(内藤義雄)。

シロハラ ◇4月13日、坂戸市西坂戸の自宅付近で1羽。さかんに枯れ葉をひっくり返しているところを自宅の窓からウォッチング(増尾隆・節子)。◇4月18日、浦和市秋ヶ瀬の子供の森で1羽(陶山和良)。

ツグミ ◇4月4日、11日、荒川自転車道の文覚排水路西側の土手で約100羽。三々



オガワコマドリ(ヒタキ科ツグミ亜科)

4月21日 千葉県印旛沼にて

佐藤 進(大宮市)

五々餌をあさっていました(松尾英美)。

◇4月10日、川島町のホンダエアポート付近で40羽以上(松尾英美)。

ウグイス(初鳴き) ◇3月10日、吹上町大芦の荒川の草原で。あまり上手でない鳴き声(栗原省二)。

ツリスガラ ◇4月18日、浦和市秋ヶ瀬の荒川本流左岸の草原(新日本ゴルフ練習場上流)で3羽(陶山和良)。

カシラダカ ◇3月14日、吹上町大芦の荒川の草原で20~30羽の群れ(栗原省二)。

アオジ ◇4月1日、秩父市の羊山公園で7羽。ぐぜっている(山岸昭治)。

ウソ ◇3月31日、三峰山で♂♀各1羽(山岸昭治)。◇4月3日、秩父市の羊山公園で3羽(山岸昭治)。

シメ ◇4月1日、吹上町の元荒川さくら橋付近の桜の梢で1羽。例年この時期、桜のつぼみをついばむ姿がよく見られます。

(栗原省二)。◇4月1日、秩父市の羊山公園で7羽(山岸昭治)。◇4月20日、幸手市木立の中川で1羽(秋間利夫)。

### 表紙の写真

### ミゾゴイ(サギ科)

夏鳥として日本に渡来。低山の雑木林の暗いところにいるため、人目につかない。個体数も減っているという。

今回は渡りの途中、石戸宿の桜土手の斜面の明るいところで太いミズを食べていた。

石戸宿で20年間観察を続けている小川寛次さんからの連絡を受け、数日後の4月25日夕方かけつけ、撮影に成功。

これが最後で、翌日には姿はなかった。

佐藤 進(大宮市)

# 行事あんない



(渡辺 敦)

## 北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：6月2日(日)

集合：午前8時30分 北本自然観察公園駐車場、または午前8時15分JR高崎線北本駅改札口。集合後、タクシーで現地へ。リーダーの指示で分乗してください。

担当：岡安、榎本、内藤、立岩、永野(安)、永野(京)、川那部

見どころ：紫陽花けふる六月、石戸宿へどうぞ。目に染みる青葉、「カッコウ・カッコウ」別名…粟まき鳥、豆まき鳥、麦熟らし。アシ原の上をツートンカラーのヨシゴイが飛ぶ。鳥達はいま子育て中です。近づき過ぎないように注意しましょう。

## 浦和市・民家園周辺定例探鳥会

〈差間コース〉

期日：6月2日(日)

集合：午前9時 浦和市くらしの博物館 民家園駐車場、念仏橋バス停前

交通：JR浦和駅西口バス1番乗場、さぎ山記念公園行き8:14発、または大崎園芸植物園行き8:25発に乘車、念仏橋下車

後援：浦和市くらしの博物館民家園

担当：手塚、伊藤、工藤、桜庭、新堂、高松、笠原

見どころ：「一筆啓上…」「行々子…」初夏の風が頬をなぞ、緑のフィールドをわたっていく。この時期鳥たちはよくさ

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

えずる季節です。梢で、アシ原でさえずる「声のぬし」を皆で探してみましよう。

## 大輪が三峰山探鳥会

期日：6月2日(日)

集合：午前10時 三峰神社ロープウェイ 山頂駅前

交通：秩父鉄道熊谷7:16→寄居7:50→お花畑8:30→三峰口行きに乘車、終点下車。西武バスにて、三峰山ロープウェイ入口(大輪)下車。三峰ロープウェイ9:50発にて山頂駅へ。

解散：三峰山ビジターセンター周辺にて午後1時ごろ。

担当：小池、青山、関口、林(滋)

見どころ：夏鳥の季節になりました。オオルリ・キビタキ・コルリなどの美声の歌い手を訪ねてみませんか。山の天気は変わりやすいので雨具の用意と足絆を十分に。

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：6月9日(日)

集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前 秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:03発に乘車

担当：榎本、小池、田口、中嶋(章)、和田、石井(博)、倉崎

見どころ：ヨシキリのBCMのなかで、鳥たちの子育てぶりをそっと見守ってみませ



んか。見上げれば、梅雨の間の青空に  
コアジサシの白いきらめき。

#### 北川辺町 高瀬池水田探鳥会

期日：6月9日（日）  
集合：午前9時10分 東武日光線柳生駅前  
交通：JR宇都宮線大宮8:01→栗橋8:30着にて  
東武日光線乗換え8:52→柳生9:02着  
担当：新堂、中島（康）、松井、内田、五十嵐、入山、篠原（五）  
見どころ：広がる緑のアシ原から聞こえてくる合唱はオオヨシキリとコヨシキリ。そのコーラスの大好きなカッコウも鳴き、舞い、賑わいをみせる。

#### 坂戸市 高草川探鳥会

期日：6月16日（日）  
集合：午前9時 東武越生線川角駅前  
交通：東武東上線川越8:12発、坂戸にて越生線乗換え8:41発に乗車、川角8:50着  
解散：午後1時ごろ、現地にて  
担当：石井（幸）、高草木、藤掛、青山、志村、久保田  
見どころ：入梅！ 天の神様が涙を流す頃。里の鳥達も子育てにおおわらわ。子供達へのお土産をくわえた親鳥が我家に帰っていく姿が見られます。そっと見守ってあげましょう。気まぐれヤマセミも見られますよ。雨具を忘れずに!!

#### 浦和市 三堂地区定例探鳥会

期日：6月16日（日）  
集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口、集合後、バスで現地へ。または午前9時 浦和市立郷土博物館前  
後援：浦和市立郷土博物館  
担当：楠見、福井、渡辺（周）、手塚、伊藤、笠原、若林、倉林、岡部、兼元、嶋田、森  
見どころ：すっかり緑を増した見沼たんぼの水田、周辺の森や雑木林も緑を増している。芝川のアシの茂りにカルガモの親子が泳ぎ、その上でオオヨシキリのさえずりが聞こえる。自然と人の語ら

いの探鳥会においで下さい。

#### 支部総会の案内

日時：6月23日（日）  
午後1時受付開始  
午後1時30分～2時30分 記念講演  
午後2時40分～4時30分 総会  
会場：埼玉県県民活動総合センター（伊奈町）  
☎ 0480-728-7111  
交通：ニューシャトル大宮12:00発、または12:30発に乘車、羽貫駅下車、送迎無料バス接続（大宮駅から会場まで約45分）。またはJR上尾駅東口から11:57発羽貫駅行バスで終点下車、送迎バスに乗り換え。  
無料駐車場あり。  
記念講演「関東地方のカワウについて」  
講師：成末雅恵（本部研究センター）  
議題：平成7年度事業報告・決算報告  
平成8年度事業計画案・予算案  
平成8年度役員の見出し  
参加資格：支部会員に限ります。支部会員であれば、どなたでも自由に参加できます。多数の方の御参加をお待ちしております。

#### 「しらこぼと」会つめの会

とき：6月29日（土）午後1時～2時ごろ  
会場：支部事務局 108号室  
案内：いつも通りです。初めての人も歓迎。

#### 羽根図鑑の笹川昭雄先生講演会

期日：7月6日（土）  
時間：開場午後1時、開演午後1時30分  
内容：約2時間、羽の図鑑を中心に、長年にわたる山科鳥類研究所での経験、ワシ・タカ類の権威としての話題がたっぷり。講演後の懇親会もお楽しみに。  
場所：北本市・埼玉県自然学習センター  
交通：JR高崎線北本駅西口からタクシーで

# 行事報告



2月4日(日) 北本市 石戸宿

参加: 41人 天気: 快晴

カイツブリ カワウ マガモ カルガモ コガモ  
オナガガモ トビ オオタカ ノスリ クイナ  
バン キジバト アオゲラ コゲラ ハクセキレイ  
セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビ  
タキ ツグミ ウグイス ヤマガラ シジュウ  
カラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ  
カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ  
カケス オナガ ハシボソガラス (35種) スター  
トからバンをはじめ冬の小鳥たちが多数出現した。  
全員がウグイス、クイナ、バン、アオジなどを見  
ることができ、それに天空にオオタカ、ノスリが  
舞い探鳥会日和であった。お目当てのベニマシコ  
も♂♀出たし、全員でないが、大多数の人が見る  
ことができた。おまけに野性化したベニスズメも  
出てくれ、楽しい一日であった。(内藤義雄)

2月4日(日) 大宮市 深作川遊水池

参加: 39人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ カルガ  
モ コガモ オナガガモ ホシハジロ トビ タ  
ゲリ イソシギ タシギ カモメsp シラコバ  
ト キジバト コゲラ ヒバリ ハクセキレイ  
タヒバリ ヒヨドリ ツグミ ウグイス シジュ  
ウカラ ホオジロ ホオアカ アオジ オオジュ  
リン カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソ  
ガラス ハシブトガラス (32種) 遊水池の内外で  
工事のため、カモ類が少なかったが、深作川で  
は初めてのホオアカが見られて良かった。芦原で  
はオオジュリンが多く見られた。初参加の方はタ  
ゲリに大感激の様子だった。(中島康夫)

2月4日(日) 瀬和市 民家園周辺

参加: 34人 天気: 晴

カワウ コサギ カルガモ コガモ オナガガモ  
チョウゲンボウ コジュケイ イカルチドリ タ  
ゲリ タシギ セグロカモメ キジバト カワセ  
ミ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タ

ヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ  
シジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ  
スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハ  
シブトガラス (30種) 民家園でカワセミとジョウ  
ビタキを観察してスタート。差間コースは調整池  
工事のため、芝川を上流に向かい、ヘルシーロ  
ードを歩いた。コミミズクには会えなかったけれ  
ど、鉄塔に止まるチョウゲンボウや間近でタゲリ  
を観察できた。たまには夕日をバックに鳥を見る  
のもいいものだ。(手塚正義)

2月11日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 37人 天気: 快晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ コハク  
チョウ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ  
ホシハジロ トビ ノスリ キジ イカルチドリ  
ハマシギ クサシギ イソシギ ユリカモメ キ  
ジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ  
セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ  
ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ  
ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シ  
メ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス  
ハシブトガラス (41種) 今回は大麻生探鳥会に初  
参加の方も多く、大麻生の自然環境の解説や、陸  
地にうずくまるコハクチョウを見て、水鳥の鉛被  
害の話などもできた。こうしたことで、大麻生に  
まだ残る自然の豊かさを再認識し、野鳥保護への  
理解が深まればと思っている。(小池一男)

2月11日(日) 上尾市 丸山公園

参加: 22人 天気: 晴

カイツブリ カワウ コサギ コガモ ノスリ  
コジュケイ タゲリ イソシギ キジバト トラ  
フズク カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ  
ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ  
ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオ  
ジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワ  
ラヒワ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハ  
シボソガラス (32種) 市内の小中学校のマラソン

大会に重なり、喧騒の中に紛れ込んでしまった。お目当てのカワセミが見られるか気になった……が、景観池に行くと、カワセミがいるぞの声。なんと♂♀ペアでじっくり見られた。荒川沿いでは、タゲリ、ノスリ、トラフズクと観察できた。喧騒の中でまずまずの探鳥会だった。(乗田 実)

2月11日(日) 大宮市 大宮市民の森

参加: 28人 天気: 快晴

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ  
コガモ オナガガモ ホシハジロ バン タシギ  
キジバト コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグ  
ロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグミ  
ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ ア  
オジ オオジュリン カワラヒワ スズメ ムク  
ドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス  
(31種) 担当の林リーダーが急な海外出張でピン  
チヒッター。前日下見時の強風はなんとかおさま  
り、期待どおりにヒバリが気持ちよくさえずって  
くれ、春は名をみの寒い風の中で一足先に春を感  
じた。芝川では、バンが何度も出現し、皆でじっ  
くりと観察できた。(工藤洋三)

2月11日(日) 所沢市 狭山湖

参加: 30人 天気: 快晴

カイツブリ ハジロカイツブリ カンムリカイツ  
ブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マ  
ガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガ  
モ キンクロハジロ ホオジロガモ トビ オオ  
タカ ノスリ イソシギ キジバト コゲラ ハ  
クセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨド  
リ ルリビタキ シロハラ ツグミ ウグイス  
ヤマガラ シジュウカラ メジロ アオジ カワ  
ラヒワ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハ  
シボソガラス ハシブトガラス (39種) 玉湖神社  
ではルリビタキ♀が出現し、上空にはノスリとオ  
オタカが舞った。狭山湖にはカモがほとんどい  
なかったが、カンムリカイツブリは100羽以上が群  
泳していた。数羽のホオジロガモも、じっくり眺  
めることができた。鳥合わせ中にルリビタキ♂が  
出現し、皆でじっくり観察。(三田長久)

2月12日(月、振休) 栗松山市 物見山

参加: 69人 天気: 晴

オオタカ キジ キジバト コゲラ キセキレイ  
ハクセキレイ ヒヨドリ モズ カヤクグリ ル

リビタキ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウ  
グイス エナガ ヒガラ シジュウカラ メジロ  
ホオジロ アオジ カワラヒワ スズメ ムクド  
リ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス  
(26種) 最初、地元の別所さんに周辺の鳥事情を  
話していただき、スタート。鳥影は少なかったが、  
入山沼でルリビタキ、ウグイスと見られて、リー  
ダーたちはホットする。山あいの田圃ではキジ♂  
が勇姿を見せてもりあがる。市民の森では鳥は少  
なかったが、岩殿観音でもルリビタキ♂♀、キセ  
キレイ、シロハラ、ジョウビタキと姿を見せ、な  
んとか鳥見らしくなって終了した。カヤクグリを  
見た人もいてラッキーであった。(内藤義雄)

2月12日(月、振休) 富士見市 柳瀬川

参加: 26人 天気: 晴

カワウ コサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ  
オナガガモ キンクロハジロ チョウゲンボウ  
イカルチドリ タゲリ イソシギ セグロカモメ  
キジバト ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ  
セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ツ  
グミ セッカ アオジ オオジュリン カワラヒ  
ワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブ  
トガラス (29種) 林が無くなって、風景が変わ  
った土手を歩く。マガモがいなかったが、セグロカ  
モメが姿を見せて、Uターン。タゲリの群れが5  
羽、他に単身赴任が1羽。チョウゲンボウがカラ  
スに追われて、鉄塔で一休み。モズの♂♀が並ん  
で見送り、ヒバリが春を告げた。(高草木泰行)

2月17日(土) 群馬県 観妙義

参加: 28人 天気: 曇時々小雪

オシドリ マガモ カルガモ トモエガモ オナ  
ガガモ クマタカ キジバト ヤマドリ アオゲ  
ラ アカゲラ コゲラ セグロセキレイ ヒヨド  
リ カワガラス ジョウビタキ ツグミ シロハ  
ラ エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ  
ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ ニ  
ュウナイスズメ スズメ ムクドリ カケス ハ  
シボソガラス ハシブトガラス (31種) 小雪の舞  
う中、イヌワシくんを求め片道5キロの道を歩い  
たが、昼食中にその上空を旋回という夢は破れた。  
でも、解散後の帰り道でイヌワシくんはご挨拶に  
低空飛行を見せてくれ、オオタカ3羽も同時に  
出た。約100羽のオシドリの中に3~4羽のトモエ  
ガモが鮮明に見えたのは珍しい。(松井昭吾)

## 連絡 中長

### ■核都市広域幹線道路を考える会準備会

見沼たんぼ・三富新田を通り、狭山丘陵を南北に縦断する核都市広域幹線道路が計画されています。特に狭山湖の堤防付近を通ることが予想される事態に、トトロのふるさと基金委員会(所沢市)・狭山丘陵の自然と文化財を考える連絡会議・狭山丘陵を市民の森にする会の3団体が危機感を強め、考える会準備会の結成を呼びかけてきました。

支部役員会で討議して、道路計画に対して自然保護の視点からの見直しを求める必要があると意見が一致、考える会準備会結成に賛同書を送りました。

### ■彩の国さいたま環境推進協議会

埼玉県環境基本条例の第29条に基づき設立された彩の国さいたま環境推進協議会に入会してほしいと、会長土屋義彦県知事名の依頼書が届き、役員会で協議した結果、当支部も入会手続きをとりました。

この協議会は、県・市町村などの行政当局や県内の事業所、環境関係活動団体が協働して、あるいはそれぞれ自主的な活動により、「環境への負荷の少ない持続的に発展することができる循環型社会の構築を目指す」ものです。

### ■秩父愛鳥会の会長交代

当支部と友好的な関係にあり、秩父地方で独自の自然保護運動を続けている秩父愛鳥会は、過去25年にわたり会長を務めていた宮崎章次氏が会長を退任して名誉会長に就任することになり、4月28日(日)秩父市内で同氏を慰労する会が開かれました。県自然保護課長などの行政関係者やマスコミ関係者なども含めて70名近くが集まり、当支部からは海老原美夫副支部長が出席しました。

後任の会長は町田邦利氏、副会長は北薫・丸山政弘・河村伸彦の3氏、事務局長は田村栄徳氏が就任しました。

### ■菅生沼で普及活動

4月17日(水)茨城県自然博物館と菅生沼で、埼玉県鷺宮町福祉課主催のバードウォッチングが開催され、16名の参加者に対して松

井昭吾支部長をはじめ、桜庭勇・新堂克浩・中村栄男の各リーダーが指導に当たり、35種を観察して好評裡に終了しました。

### ■土曜日当番ボランティア募集

毎週土曜日の午後2時～6時の間、交代で支部事務局の鍵を開けて、来訪者や電話の応対とか軽い雑用をこなしていただくボランティアを2～3名募集します。

会員であれば性別・年齢・経験・身長・体重など一切不問。お手伝いをお願いします。

### ■今月もまた、ごめんなさいコーナー

5月号8ページ「行事あんない」中、5月10日秋ヶ瀬公園と5月11日黒浜沼の集合時間は、「午後」ではなく、「午前」です。午後8時に集まった方はいないと思いますけど、あまりの間違いいに見かねて、校正を手伝ってやろうではないかという方は、次は6月22日(土)です。よろしく。

### ■6月の事務局 土曜と日曜の予定

- 1日(土) 普及部会議(4時から)
- 15日(土) 編集会議(1時から)
- 22日(土) 校正作業(1時から)
- 29日(土) 袋づめの会(1時から)

### ■会員数は

5月1日現在2,715人です。

## 活動報告

- 4月6日 普及部会議。
- 4月13日 校正(工藤洋三・桜庭勇・新堂克浩・中村栄男)。
- 4月16日 県自然保護課訪問(松井昭吾・岡安征也・新堂克浩)。
- 4月29日 役員会議(司会:吉原俊雄、各呼びかけに対する対応・その他)。

## 編集後記

5月の上旬は、移動中の夏鳥が職場で見られるのを楽しみにしています。ところが今年は全然だめで、寂しく思っていたら、昨日昼休みの散歩でやっとセンダイムシクイに出会え、思わず顔がほころんでしまいました。

(森本)

『しらこぼと』1996年6月号(第146号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)  
 発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
 〒336 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130  
 印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)  
 再生紙使用